一般社団法人日本歯科医学会連合　令和 6 (2024) 年度事業報告書

1.　理事会開催：6 回
第 1 回理事会（令和 6 (2024) 年 4 月 12-16 日）（電磁）
【承認された議題】
1)　一般社団法人日本歯科専門医機構への提案提出に関する件

第 2 回理事会（令和 6 (2024) 年 5 月 22 日）（ハイブリッド形式：会場-オンライン）
【承認された議題】
1)　令和 5 (2023) 年度事業報告に関する件
2)　令和 5 (2023) 年度決算に関する件
3)　次期監事の選任に関する件
4)　令和 6 (2024) 年度定時総会招集に関する件
5)　委員会規程の改正に関する件
6)　賛助会員入会に関する件

第 3 回理事会（令和 6 (2024) 年 6 月 12 日）（ハイブリッド形式：会場-オンライン）
【承認された議題】
1)　定時総会進行に関する件

第 4 回理事会（令和 6 (2024) 年 9 月 4 日）（ハイブリッド形式：会場-オンライン）
【承認された議題】
1)　理事候補者選挙規則の制定に関する件
2)　役員の選任に関する規則の改正に関する件
3)　臨時総会招集に関する件
4)　理事選挙に関わる日程に関する件

第 5 回理事会（令和 6 (2024) 年 12 月 4 日）（ハイブリッド形式：会場-オンライン）
【承認された議題】
1)　令和 7 (2025) 年度事業計画（案）に関する件
2)　令和 7 (2025) 年度予算編成（案）に関する件
3)　臨時総会招集に関する件

第 6 回理事会（令和 7 (2025) 年 3 月 5 日）（ハイブリッド形式：会場-オンライン）
【承認された議題】
1)　令和 7 (2025) 年度事業計画（案）に関する件
2)　令和 7 (2025) 年度予算編成（案）に関する件
3)　選挙管理委員会委員の指名に関する件

2.　総会開催：3 回（定時総会 1 回，臨時総会 2 回）
定時総会（令和 6 (2024) 年 6 月 19 日）（ハイブリッド形式：会場-オンライン）
【承認された議題】
1)　令和 5 (2023) 年度事業報告に関する件
2)　令和 5 (2023) 年度決算に関する件
3)　次期監事の選任に関する件

臨時総会（令和 6 (2024) 年 12 月 11 日）（ハイブリッド形式：会場-オンライン）
【承認された議題】
1)　一般社団法人日本歯科医学会連合理事候補者選挙規則制定に関する件
2)　役員の選任に関する規則の改正に関する件

臨時総会（令和 7 (2025) 年 3 月 12 日）（ハイブリッド形式：会場-オンライン）

【承認された議題】
1) 令和 7 (2025) 年度事業計画に関する件

3. 事　業
1) 将来構想推進委員会
地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターとの協働による医工連携事業（医工連携を志す都内ものづくり系中小企業活性化のための情報提供，都産技研の医工連携コーディネータ事業の広報活動，諸先生の研究紹介および企業様の医工連携成果事例（製品）の紹介）として，令和 6 (2024) 年 11 月 26 日に「2024 年度都産技研医工連携セミナー」を会場開催にて実施した。

令和 6 (2024) 年 11 月 26 日
2024 年度都産技研医工連携セミナー
主　催：東京都立産業技術研究センター，一般社団法人日本歯科医学会連合
テーマ：歯科分野の先端技術と医工連携
開催形式：会　場（一橋大学一橋講堂）
演　題：命を守る「口腔健康管理」の大切さ
講　師：小林隆太郎（日本歯科大学東京短期大学学長，
日本歯科医学会連合将来構想推進委員会委員長）
演　題：近未来の挑戦：2040 年への歯科イノベーションロードマップ
講　師：天野敦雄（大阪大学名誉教授，特任教授）
演　題：歯科の常識，世間の非常識？／世間の常識，歯科の非常識？
講　師：藤井一維（日本歯科大学学長）
演　題：歯科産業界における医工連携
講　師：山中一剛（日本歯科商工協会会長，株式会社ヨシダ代表取締役社長）
受講者：94 名

（委員会開催）
第 1 回：令和 6 (2024) 年 8 月 22 日-28 日（電磁）
第 2 回：令和 7 (2025) 年 3 月 31 日（ハイブリッド形式：会場-オンライン）

（商標登録展開ワーキンググループ）
子どもの口腔機能発達支援のマスコット，ハビルちゃんの妹の名前について公募を行い，選考の結果「ハミルちゃん」に決定した。
商標登録展開ワーキンググループでは，子どものお口の発達と歯科医療を多方面から考えることを目的としたフォーラムをオンデマンド配信した。

令和 7 (2025) 年 2 月 1 日
テーマ：子どもの食行動，偏食を考える～口腔機能発達不全症の管理指導へのヒント～
開催形式：オンデマンド（2 月 1 日から 2 月 28 日）
演　題：発達障害等の発達特性を有する子どもの食の困難と発達支援
講　師：田部絢子（金沢大学人間社会研究域学校教育系准教授）
演　題：摂食障害や偏食の子どもたちが楽しく食べるために
講　師：藤井葉子（医療法人社団湧泉会ひまわり歯科）
演　題：子どもの摂食障害（食べたいのに食べられない子への対応）
講　師：作田亮一（獨協医科大学埼玉医療センター特任教授，
子どものこころ診療センター長）
受講者：444 名

（委員会開催）
第 1 回：令和 6 (2024) 年 8 月 31 日（電磁）
第 2 回：令和 6 (2024) 年 9 月 9 日（電磁）

（顎骨骨密度デンタルエックス線画像診断に関する検討ワーキンググループ）
「口内法デンタルＸ線画像から顎骨の骨密度を計測するソフトウェアを利用した研究課題」の募集を「顎骨骨密度デンタルエックス線画像診断に関する検討ワーキンググループ」を発足し令和 3 (2021) 年度より新規事業として開始した。令和 6 (2024) 年度においては，令和 3 (2021) 年度研究課題の成果物について審査を行い研究助成金の支払いを行った。
本年度内に出版された英文報告書（令和 3 (2021) 年度研究課題 11 課題中，2 課題）
Sugino N et al. Association between the bone density of alveolar and general skeletal bones in the young. Cureus 2025; 17(2): e78643. doi: 10.7759/cureus.78643
Kubo R et al. Differences in alveolar bone mineral density by tooth type in female osteoporotic patients treated with bisphosphonates. Oral Science International 2025; 22(1): e1285. doi/10.1002/osi2.1285

（委員会開催）
第 1 回：令和 7 (2025) 年 2 月 4 日（オンライン）
第 2 回：令和 7 (2025) 年 2 月 7-12 日（電磁）

（歯科オンライン診療に関するワーキンググループ）
ＩＣＴを活用した医科歯科連携等の検証事業（厚生労働省歯科医療施策）より業務を委託され，臨床現場で適切に歯科オンライン診療が行われるよう歯科オンライン診療に適する症状（又は適さない症状），歯科オンライン診療の初診の考え方（初診での投与について十分な検討が必要な薬剤の考え方も含む）について歯科の特性やオンラインによる技術的な制限により取得できる診療情報の限界等も踏まえ，現在において，臨床現場で適切に歯科オンライン診療が行われるよう，具体的に整理を行い「歯科オンライン診療の初診に関する提言」を取りまとめた。

（委員会開催）
第 1 回：令和 6 (2024) 年 11 月 13 日（オンライン）
第 2 回：令和 7 (2025) 年 1 月 20 日（オンライン）
第 3 回：令和 7 (2025) 年 2 月 26 日（オンライン）

2) 企画広報委員会
メーリングマガジンの編集，発行スケジュールについて見直しを図り，当法人の会員に対する情報発信を的確に行う体制を整え第 8 号から第 19 号まで毎月発行を行った。当法人ウエブサイトの英語版の構成を一部見直し，アクセシビリティの向上を図った。

（委員会開催）
第 1 回：令和 6 (2024) 年 10 月 3-8 日（電磁）

（企画広報委員会，国際活動委員会合同会議）
第 1 回：令和 6 (2024) 年 4 月 17 日（会場）

3) 大型研究推進委員会
歯科分野で課題とされている解決すべき技術課題や研究課題，シーズやニーズを共有し，出口戦略も見据えた大型研究の推進や，さらには研究の裾野がさらに拡がることを念頭に置いた第 8 回大型医療研究推進フォーラム「歯科医療の未来を拓く研究開発戦略」を令和 7 (2025) 年 2 月 15 日にオンラインで開催し，その後，2 月 18 日から 2 月 25 日までオンデマンド配信した。各分野の第一人者が集結し，産学官連携による研究開発の成果創出，若手研究者育成，国際的な研究開発ネットワーク構築について，理念を共有し，未来への展望について情報共有を行った。

令和 7 (2025) 年 2 月 15 日

第 8 回大型医療研究推進フォーラム
テーマ：歯科医療の未来を拓く研究開発戦略
開催形式：オンライン，オンデマンド（2 月 18-25 日）
演　題：歯科医療の未来を拓く研究開発戦略
講　師：竹上嗣郎（日本医療研究開発機構（AMED）経営企画部参事役）
演　題：バイオバンクとゲノム，そこから疾患多様性の理解へ
講　師：田中敏博（東京科学大学疾患バイオリソースセンターセンター長）
演　題：新規医療機器開発に向けた科学/工学循環アプローチ
講　師：松本卓也（岡山大学医歯薬学総合研究科生体材料学分野教授）
演　題：創発的研究支援事業について
講　師：犬伏俊博（大阪大学歯学部附属病院講師）
演　題：文書作成の苦手克服！大学人に必要な文章力－論文，特許，科研費，
AMED 事業について考える－
講　師：吉田靖弘（大型研究推進委員会委員長，北海道大学大学院歯学研究院教授）
受講者：113 名

（委員会開催）
第 1 回：令和 6 (2024) 年 4 月 2 日（オンライン）
第 2 回：令和 6 (2024) 年 8 月 30 日-9 月 3 日（電磁）
第 3 回：令和 6 (2024) 年 10 月 8 日（オンライン）
第 4 回：令和 7 (2025) 年 2 月 3 日（オンライン）

4) 国際活動委員会
令和 6 (2024) 年 11 月 24 日に，フォーラム「翔（と）びたて！グローバルな舞台で活躍する力～国際社会でのリーダーシップを目指して～」をオンラインで開催し，その後，11 月 29 日から令和 7 (2025) 年 1 月 31 日までオンデマンド配信した。講師（田上順次，小野法明，芝多佳彦，小高研人，八田みのり）の講演後，委員も総合討論に参加した。

令和 6 (2024) 年 11 月 24 日
国際活動委員会フォーラム 2024
テーマ：翔（と）びたて！グローバルな舞台で活躍する力～国際社会でのリーダーシップを目指して～
開催形式：オンライン，オンデマンド（11 月 29 日から令和 7 (2025) 年 1 月 31 日）
演　題：国際活躍人材の育成と自己形成～National のないところに International はない～
講　師：田上順次（チュラロンコン大学歯学部教授）
演　題：未知の世界へ踏み出す勇気～海外に眠る無限の機会を追求する～
講　師：小野法明（テキサス大学ヒューストン校歯学部准教授）
演　題：留学という人生の転機: 二か国留学から得た挑戦のヒント
講　師：芝　多佳彦（東京科学大学 歯学部 生体支持組織学講座　歯周病学分野）
演　題：シャリテーベルリン医科大学での留学を終えて
講　師：小高研人（東京歯科大学 歯科放射線学講座）
演　題：グローバル人材育成と海外留学・研修の未来におけるコロナ禍の影響分析について
アンケート報告
講　師：八田みのり（国際活動委員会幹事）
受講者：91 名

（委員会開催）
第 1 回：令和 6 (2024) 年 8 月 6 日（オンライン）
第 2 回：令和 6 (2024) 年 9 月 9 日（オンライン）

（企画広報委員会，国際活動委員会合同会議）

第 1 回：令和 6 (2024) 年 4 月 17 日（会場）

5) ICT 活用委員会
オンデマンド研修システムを会員学会の研修内容にあわせた仕様変更を行った。仕様内容等を確認したのち運用を開始することとした。
生成 AI を活用した医療ニーズマッチングの構築について検討を行った。

（委員会開催）
第 1 回：令和 6 (2024) 年 5 月 14 日（オンライン）
第 2 回：令和 6 (2024) 年 9 月 10 日（オンライン）
第 3 回：令和 7 (2025) 年 1 月 14 日（オンライン）

6) 医療問題に関わる調査研究等の事業については，以下の委員会が担当し実施した。
① 政策連携渉外委員会
「歯科医療制度と歯科医療問題に関する資料収集および調査研究」に関する課題で，11 課題を採択した。過年度を含め課題および報告書等は当法人ウエブサイトに掲載されている。
https://www.nsigr.or.jp/medical_problem.html
課題報告書と論文は，関係諸団体に提出する資料の学術的根拠として活用される。
本年度内に出版された英文報告書（11 課題中，3 課題）
Nishimura K et al. A retrospective cross-sectional analysis of the association between the number of medications and oral functions in university hospital outpatients. Journal of Oral Science 2025; 67(1): 41-45. doi: 10.2334/josnusd.24-0281
Iwaki M et al. Oral health-related quality of life and patient satisfaction using three-dimensional printed dentures: A crossover randomized controlled trial. Journal of Dentistry 2024; 150: 105338. doi: 10.1016/j.jdent.2024.105338
Imai H et al. Vat photo-polymerized denture marking plate processed with a three-dimensional printer. Asian Pacific Journal of Dentistry 2024; 24(2): 24-25. doi: 10.47416/apjod.24-0013. Supplement: doi: 10.60355/data.apjod.27273618

（委員会開催）
第 1 回：令和 6 (2024) 年 5 月 13 日（ハイブリッド形式：会場-オンライン）

② 医療職連携委員会
令和 7 (2025) 年 1 月 15 日にフォーラム「歯科衛生士のバージョンアップ～認定歯科衛生士の資格を活かす 2～」をオンデマンド配信した。
歯科衛生士の資質向上だけではなく，社会的認知度を高め質の保証をするためには，広告可能な専門資格制度の確立が必要であり，その第一歩として歯科衛生士の認定資格取得者による経験談と共働者である歯科医師の声を聴く企画とした。

令和 7 (2025) 年 1 月 15 日
医療職連携委員会フォーラム 2024
テーマ：歯科衛生士のバージョンアップ～認定歯科衛生士の資格を活かす 2～
開催形式：オンデマンド（1 月 15 日から 2 月 28 日）
演　題：日本歯科衛生士会認定歯科衛生士（摂食嚥下リハビリテーション）について
講　師：渡邉理沙（桶狭間病院藤田こころケアセンター）
演　題：日本歯科衛生士会認定歯科衛生士（在宅療養指導・口腔機能管理）について
講　師：金子信子（宝塚医療大学保健医療学部口腔保健学科）
演　題：日本歯科衛生士会認定歯科衛生士（歯科医療安全管理）について
講　師：中岡美由紀（広島大学病院）
演　題：日本歯科衛生士会認定歯科衛生士（老年歯科分野（老年歯科医学会））について
講　師：藤原千尋（国立病院機構福山医療センター）
演　題：日本歯科衛生士会認定歯科衛生士（口腔保健管理（日本口腔衛生学会））について
講　師：野口有紀（静岡県立大学短期大学部歯科衛生学科）

受講者：534 名

（委員会開催）
第 1 回：令和 6 (2024) 年 6 月 18 日（ハイブリッド形式：会場-オンライン）

（歯科技工士学術活動支援ワーキンググループ）
令和 6 (2024) 年 12 月 14 日（一社）日本歯科技工学会と「令和 6 (2024) 年度第 2 回専門歯科技工士講習会」をオンラインにて実施した。

令和 6 (2024) 年 12 月 14 日
令和 6 (2024) 年度第 2 回専門歯科技工士講習会
主　催：一般社団法人日本歯科技工学会
共　催：当法人（日本歯科医学会連合）
開催形式：オンライン
演　題：睡眠時無呼吸症候群に対する口腔内装置の歯科技工
講　師：伊佐次厚司（愛知医科大学歯科口腔外科）
受講者：57 名

（歯科衛生士学術活動支援ワーキンググループ）
歯科衛生士の認定資格や専門資格獲得を啓発するオンラインフォーラムを企画した。フォーラム開催日程，運営等については，医療職連携委員会にて検討することとした。

（委員会開催）
第 1 回：令和 6 (2024) 年 7 月 30 日（オンライン）
第 2 回：令和 6 (2024) 年 11 月 29 日（オンライン）

③ 臨床研究支援委員会
令和 6 (2024) 年 10 月 13 日に令和 6 年度臨床研究支援委員会第 4 回フォーラム「関連法規や指針を理解してより良い臨床研究を行うために」をオンラインで開催し，フォーラム終了後，令和 6 (2024) 年 10 月 14 日から 11 月 30 日までオンデマンド配信した。

令和 6 (2024) 年 10 月 13 日
臨床研究支援委員会第 4 回フォーラム
テーマ：関連法規や指針を理解してより良い臨床研究を行うために
開催形式：オンライン，オンデマンド（10 月 14 日から 11 月 30 日）
演　題：臨床研究法および倫理指針の改訂点のポイント
講　師：栗原千絵子（臨床研究支援委員会委員，神奈川歯科大学特任教授）
演　題：研究倫理の Q&Aー事前質問からー
講　師：砂田勝久（臨床研究支援委員会委員，日本歯科大学生命歯学部教授）
演　題：臨床現場でよく遭遇する疑問ーよくある質問からー
講　師：岩渕博史（臨床研究支援委員会委員長，国際医療福祉大学病院教授，
　　歯科口腔外科部長）
受講者：173 名

（委員会開催）
第 1 回：令和 6 (2024) 年 6 月 26 日（オンライン）
第 2 回：令和 6 (2024) 年 10 月 8 日（オンライン）
第 3 回：令和 7 (2025) 年 3 月 24 日（オンライン）

7) 医療安全に寄与する事業として，医療安全調査委員会が以下の事業を展開した。
（公社）日本歯科医師会と連携して令和 6 年度医療事故調査制度研修会を令和 7 (2025) 年 2 月 20 日から 3 月 6 日までオンデマンドにて実施した。また，令和 7 (2025) 年 3 月 10 日に開

催された（一社）日本医療安全調査機構の協力学会説明会に砂田委員長がオンラインで出席した。

（委員会開催）
第 1 回：令和 6 (2024) 年 7 月 26 日（オンライン）
第 2 回：令和 6 (2024) 年 11 月 14 日（オンライン）

8) 歯科専門医制度の確立に参画する事業を歯科専門医制度委員会が担った。
日本歯科専門医機構の構成社員団体として，我が国の歯科専門医制度の確立事業に参画し，日本歯科専門医機構の活動に協力するとともに，日本歯科医学会連合会員学会の専門医制度を支援するための方策を検討した。
日本歯科専門医機構に対する提言，依頼等は当法人理事会の議を経て提出することとした。
令和 6 (2024) 年度は，歯科専門医制度に関する概報の出版を提案した。
受診者啓発のための出版物（一般社団法人日本歯科専門医機構との共同発行）について，当法人理事と歯科専門医制度委員会委員から原稿原案に対する意見を募り，取り纏めた意見書として機構に提出した。

（委員会開催）
第 1 回：令和 6 (2024) 年 4 月 30 日（オンライン）

9) 研究倫理審査について，倫理利益相反委員会が担った。
国際活動委員会より令和 6 (2024) 年度研究倫理審査について審議を行い条件付き承認とした。
倫理利益相反委員会規程の改正および研究倫理審査規程制定に向け検討を行った。
研究倫理審査，利益相反等に関する英文の文書作成と点検を開始した。

（委員会開催）
第 1 回：令和 6 (2024) 年 7 月 2 日（オンライン）
第 2 回：令和 6 (2024) 年 7 月 16-22 日（電磁）
第 3 回：令和 6 (2024) 年 9 月 30 日（オンライン）
第 4 回：令和 6 (2024) 年 10 月 30 日-11 月 18 日（電磁）

10) 出版事業
令和 6 (2024) 年 12 月 27 日に「日本歯科医学会連合雑誌第 3 巻」を発行し，各論文の電子版を科学技術情報発信流通総合システム（J-STAGE）に掲載した。
https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jjdsf/-char/ja
当法人事業関連論文
政策連携渉外委員会
恒石美登里，青木 仁，田口円裕，末瀬一彦，藤田一雄，高橋英登．病院における医科歯科連携に関する 2023 年度調査．日歯連合誌 2024; 3: 27-31.
歯科専門医制度委員会
森山啓司，新井一仁，清水典佳，齋藤 功，友成 博，居波 徹．矯正歯科専門医制度の機構認定までの道程．日歯連合誌 2024; 3: 1-6.
石井信之，五十嵐 勝，佐久間克哉，柴 秀樹，北村知昭，林 美加子．歯科保存専門医の機構認定までの道程．日歯連合誌 2024; 3: 7-13.
医療安全調査委員会
佐藤慶太．医療事故調査制度における日本歯科医学会連合等の役割．日歯連合誌 2024; 3: 14-20.
臨床研究支援委員会
馬場俊輔．医療機器の承認申請．日歯連合誌 2024; 3: 21-26.
歯科技工士学術活動支援ワーキンググループ
野本秀材．歯科におけるデジタルワークフローの展望．日歯連合誌 2024; 3: 32-38.

（和文誌編集会議開催：日本歯科医学会連合雑誌）
第 1 回：令和 6 (2024) 年 11 月 15 日（ハイブリッド形式：会場-オンライン）

令和 6 (2024) 年 5 月 21 日に「Asian Pacific Journal of Dentistry (APJD)- 2024 Volume 24 Issue 1」を，令和 6 (2024) 年 11 月 16 日に「Asian Pacific Journal of Dentistry (APJD)- 2024 Volume 24 Issue 2」を発行し，各論文の電子版を科学技術情報発信流通総合システム（J-STAGE）に掲載した。
https://www.jstage.jst.go.jp/browse/apjod/
当法人事業関連論文
将来構想推進委員会
歯科医療・臨床ニーズオンラインマッチング会 210127 関連報告
Kiuchi K et al. Improvement in working environment of wet rotary cast trimmer by means of light-emitting diode light bulbs. Asian Pacific Journal of Dentistry 2024; 24(1): 9-11. doi: 10.47416/apjod.24-0008

事業報告の附属明細書について

令和 6 (2024) 年度事業報告には, 一般社団法人および一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」がないため，事業報告の附属明細書は作成していない。